

## 新型コロナ関連 12.22㊦

令和2年12月22日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰  
公衆衛生担当理事 今井 一登

### 新型コロナウイルス感染症関連死亡者傾向調査結果について

神奈川県医師会より通知が参りましたので、お知らせいたします。  
鎌倉市医師会ホームページへアップロードしてありますので、ご覧ください。

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室長  
( 公 印 省 略 )

### 新型コロナウイルス感染症関連死亡者傾向調査結果について (通知)

日頃から本県の感染症対策行政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年8月31日までに亡くなった新型コロナウイルス感染症関連死亡者に係る死亡日、基礎疾患等について当室から照会していた標記調査に係る結果を取りまとめましたので、別添により送付します。

問合せ先

企画グループ 松本

電話 045-210-4615 (直通)

[iryoukiki-kikaku.3p6r@pref.kanagawa.jp](mailto:iryoukiki-kikaku.3p6r@pref.kanagawa.jp)





# COVID-19関連死亡者傾向調査結果

令和2年12月11日

神奈川県医療危機対策本部室

## 調査の概要



神奈川県

- 第1波（～6月22日）と第2波（6月23日～）の死亡者傾向を把握するため、神奈川県モデル認定医療機関88病院（当時）に対して、8月31日までの死亡者を対象（※）として実施した（調査期間：令和2年9月4日～11日）。

※各病院における死亡者を対象としたため、県民であるかどうかは問わない。

- 調査項目：  
死亡者の性別、死亡時年齢、発症日、入院日、死亡日、医療機器の使用状況、ダイヤモンドプリンセス号乗船者、その他（基礎疾患の有無、死亡経過等の自由記載欄）
- 回答数は、82病院（／88病院）（回答率93.2%）
- なお、本調査で用いる「第2波」は、県内において最後に新規発生患者が0人となった6月22日の翌日以降の期間として設定した。

# 時期別死者数

- 今回の調査で回答のあった医療機関における死者の総数は130名（うち男性82名（63%）、女性48名（37%）であった。
- 時期別に死者を集計したところ、第1波（～6月22日）の死者は103名（79%）、第2波（6月23日～）の死者は27人（21%）であった。

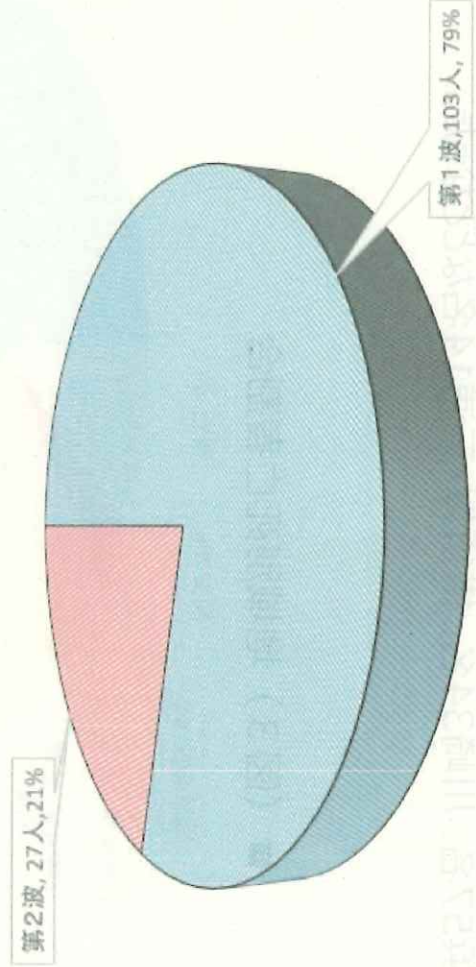
■ (表1) 性別死者数

性別	死者数(人)	割合(%)
男性	82	63.1
女性	48	36.9
計	130	100

■ (表2) 時期別死者数

区分	死者数(人)	割合(%)
第1波	103	79.2
第2波	27	20.8
計	130	100

■ (図1) 時期別死者数



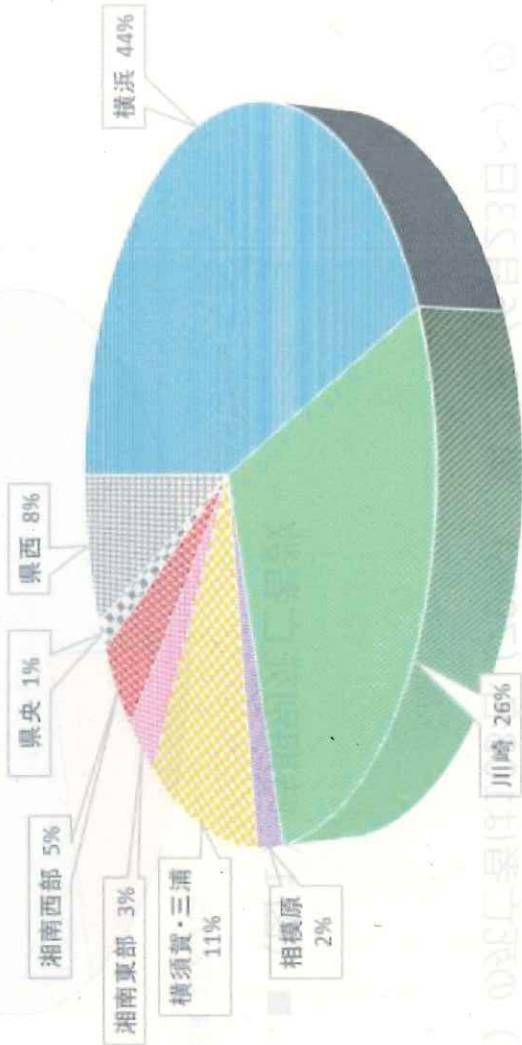
# 地域別死者数

○ 死亡先病院の地域別に死者数を集計したところ、横浜57名、横須賀・三浦14名などとなった。

■ (図2) 地域別死者数



■ (図3) 地域別死者割合



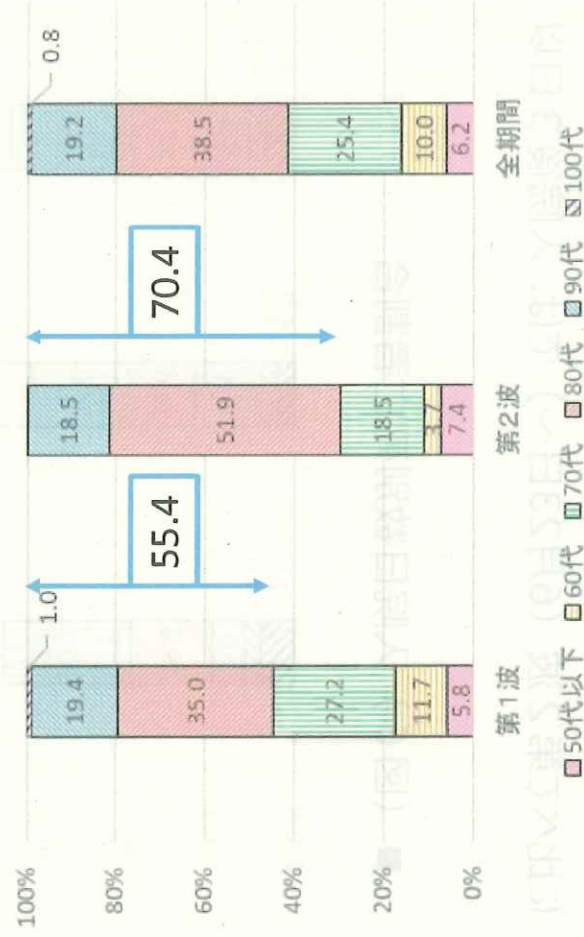
# 時期別死者数

○ 年代別に死者を集計したところ、第1波（～6月22日）では、80代以上の死者の割合が55.4%であったのに対し、第2波（6月23日～）では70.4%と15ポイント高かった。

■ (図3) 年代別死者数



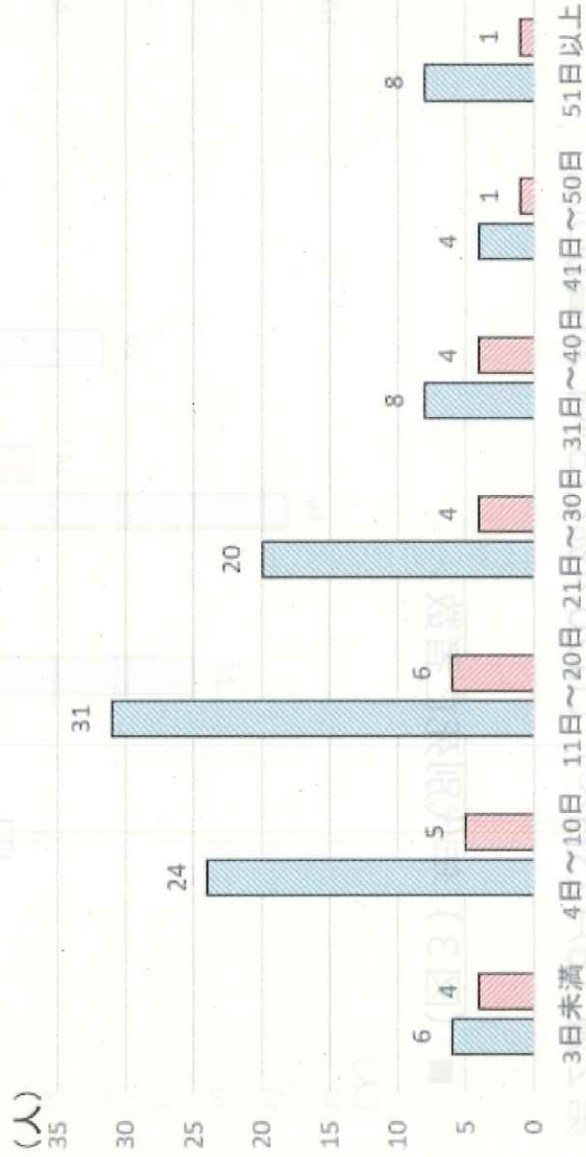
■ (図4) 年代別死者割合



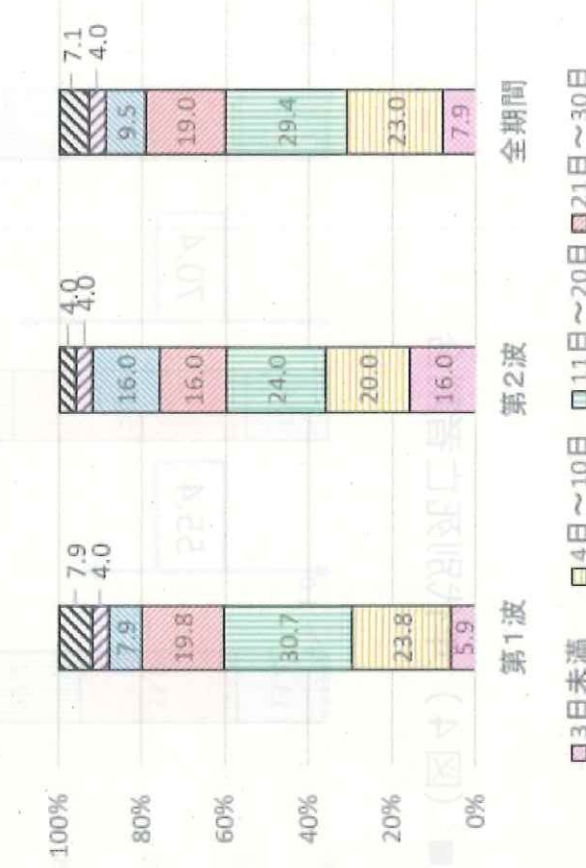
# 入院日数別死者数・割合

○ 入院日数別に死者を集計したところ、第1波（～6月22日）に比べて第2波（6月23日～）では、入院後3日以内の死者の割合が10ポイント高かった。

■ (図5) 入院日数別死者数



■ (図6) 入院日数別死者割合



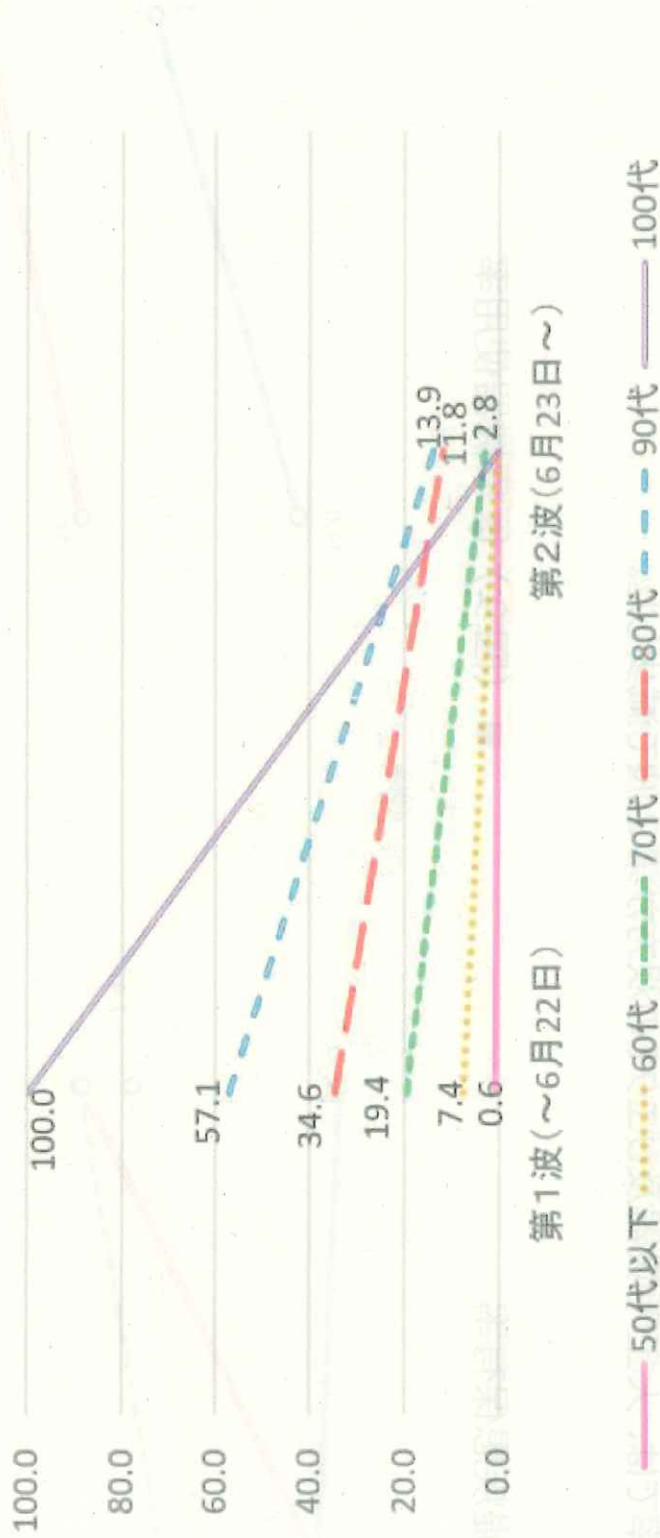
※ CPAを除く。

# 死亡率



○ 第2波では、すべての年代で死亡率が低下した。特に90代では、57.1%から13.9%と43ポイント低下した。

■ (図7) 死亡率



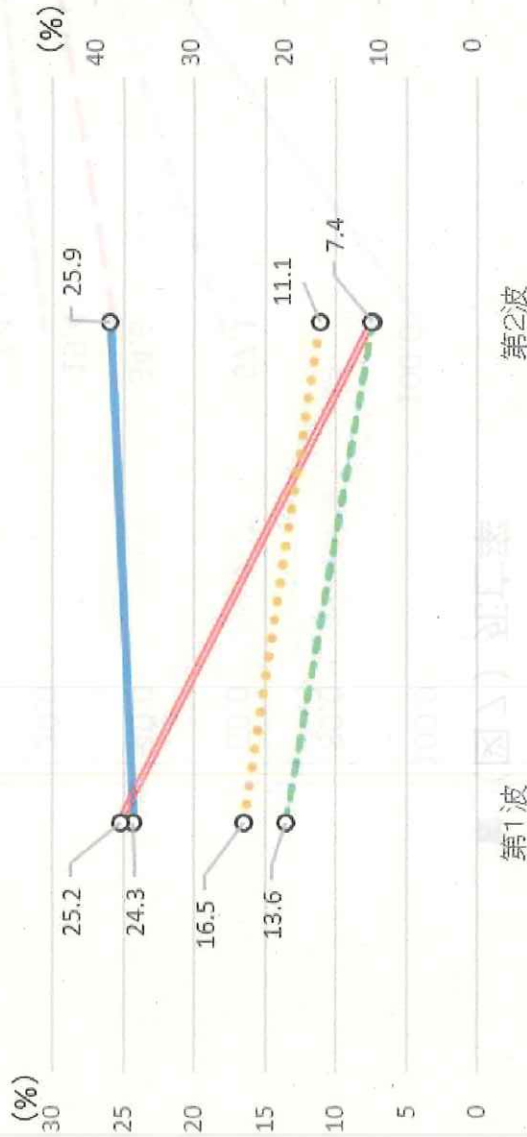
※当該期間の死亡者数/当該期間の新規発生患者の合計数 で計算。

※第2波の感染者数は、対象死亡者を8月31日までとしたことから、8月31日までの分の集計数を用いた。

# 基礎疾患保有率、医療機器使用率

- 基礎疾患保有率では、糖尿病以外の基礎疾患保有者の割合が第2波で減少した。
- 医療機器使用率では、人工呼吸器及びエグモの双方が第2波で減少した。

■ (図8) 基礎疾患保有率



■ (図9) 医療機器使用率

